

平成 28 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 29 年 4 月

食肉衛生検査所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	4頁
8	収入事務処理状況調べ	4頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6頁
11	不納欠損額調べ	6頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	7頁
14	財産に関する調べ	8頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	10頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12頁
20	備品の処分状況調べ	13頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	職員旅費の執行状況調べ	14頁
	(1) 旅行伺の事前承認	
	(2) 旅費概算払の精算等	
	(3) 旅費の計算	
	(4) 旅費の適正執行の取組状況等	
23	当年度における業務の概要	15頁
	(1) 事業実施概要	
	(2) と畜検査状況	
	(3) 検査結果に基づく処置	
	(4) と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したものの原因	

24	試験検査の状況	17頁
	(1) 精密検査	
	(2) 受託検査	
25	調査研究	18頁
○	意見、要望等	19頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項	該当なし
(2) 監査意見	該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係（担当）名	課の主な所掌事務
	管理検査担当	・ 獣畜のとさつ又は解体の検査に関すること。※ ・ と畜場の衛生に関すること。
	試験検査担当	・ 食肉等の試験検査に関すること。 ・ 食肉等の衛生に関すること。

※は担当別ではなく職員全員で行なっている。

4 職員の定員、現員調べ

(平成29年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	
定員	0	0	13	13	0	0	13	13	
現員	() 0	() 0	(1) 12	(1) 11	() 0	() 0	(1) 12	(1) 11	育児休業1名
過不足(Δ)	0	0	Δ1	Δ2	0	0	Δ1	Δ2	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	3	4		0	4	5	欠員2名、育児休業1名、部分休業補填分を非常勤職員（技術）で代替

5 役付職員の調べ

(平成29年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	上田豊	年 月 0	平成29年度異動
次長	田中啓子	2	出納員
課長補佐	森川伸昭	3	
課長補佐	大下幸子	0	平成29年度異動

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	使用料・手数料	その他
食肉衛生検査事業	18,499	3,215	15,274	10
将来ビジョン				
政策項目				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・と畜場法に基づくと畜検査を厳正に行い、と畜場及び食肉処理施設への衛生指導を徹底し、又と畜検査情報を生産者に還元することにより、安全な食肉を消費者に提供する。

(イ) 事業の実施状況

(1) と畜検査(詳細は23当年度における業務の概要を参照)

(平成28年12月31日現在)

	と畜検査頭数	全部廃棄	一部廃棄	TSE・BSE検査	精密検査件数	精密検査延件数
牛	4,991	79	3,497	656	253	1,543
とく	10	2	5	0	2	29
豚	60,037	61	26,060	—	153	1,576
めん羊	1	0	0	0	0	0
山羊	4	0	0	4	0	0
計	65,043	142	29,562	660	408	3,148

(2) 施設及び処理作業の衛生確保

- ・と畜場施設及び食肉処理施設の監視を食肉センター職員立会いの下で毎月行い、施設の衛生的な改善を指導した。また、毎週枝肉の拭き取り検査を行い、汚染状況を確認し、作業環境の改善に貢献している。

(3) と畜検査情報等の還元

- ・と畜検査の結果を生産農家ごとに集計し、罹患率・廃棄率等の統計を取り毎月情報提供を行った。また、家畜保健衛生所とも情報共有して農家の指導等に役立ててもらった。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・当所が管轄すると畜場では、平成27年3月から枝肉の最終洗浄に殺菌水(カンファ水)が導入された。この洗浄殺菌水の効果を検証し、微生物制御に効果のある牛小腸の取扱い及び洗浄方法について調査研究及び提案することによりと畜場の衛生指導に役立てた。

ウ 成 果

(1) 食肉衛生検査

- ・と畜検査、BSE検査、TSE検査等により、食肉の安全の確保に寄与した。

(2) 施設及び処理作業の衛生確保

- ・と畜場、食肉処理施設における施設、処理作業の衛生保持を徹底することにより、衛生的な食肉を確保し、食肉センターが牛枝肉のタイ輸出認可を取得（平成29年1月）するのに貢献した。

(3) と畜検査情報等の還元

- ・フィードバック事業に参加した生産者等へと畜検査データを提供することにより、生産性の向上、家畜飼養管理の改善に役立てていただき、健康な獣畜の出荷に寄与した。

エ 課 題

・ 高度な検査技術の習得等

当所は調査研究機関ではないものの、と畜検査等を行う上で、常に家畜の疾病動向に目を向け、地道にそれらの調査研究を行うことが大切であり、全国食肉衛生検査所協議会の主催する各種研修会等に職員を引き続き派遣するなど、より高度な検査技術の習得を続ける必要がある。

・ 人員の確保

と畜検査員はと畜場法で獣医師でなければならないと定められているが、近年、獣医師職員数が減少しており、産休・育休時に正職員の異動で対応することが困難になっていることから、獣医師職員の確保が急務である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成28年12月31日現在)

収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節				
衛生手数料	と畜検査手数料	64,567	円	29,286,370	円
	1. 病畜以外の獣畜				
	a. 生後一年未満の牛・馬	7		3,150	
	1) 生体50kg以上	7	450	3,150	
	2) 生体50kg未満	0	200	0	
	b. 生後一年以上の牛・馬	4,519	900	4,067,100	
	c. 豚	60,036	420	25,215,120	
	d. めん羊・山羊	5	200	1,000	
	2. 病畜	476		618,800	
	a. 生後一年未満の牛	3	1,300	3,900	
	b. 生後一年以上の牛	472	1,300	613,600	
	c. 豚	1	1,300	1,300	
	3. 証明書の発行	164	420	68,880	
	小計	65,207		29,974,050	
	衛生試験検査手数料				
食肉の一般試験	54	3,300	178,200		
小計	54		178,200		
目計	65,261		30,152,250		
合計	65,261		30,152,250		

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成28年12月31日現在) (単位: 円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料		行政財産使用料	1	66,672	66,672	0	0	鳥取県行政財産使用料条例 (第2条、3条)	
		計(行政財産使用料)	1	66,672	66,672	0	0		
目		計	1	66,672	66,672	0	0		
合		計	1	66,672	66,672	0	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成28年12月31日現在) (単位: 円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		雑入	3	20,928	20,928	0	0	行政財産使用許可 (許可条件6)	
		計(雑入)	3	20,928	20,928	0	0		
目		計	3	20,928	20,928	0	0		
合		計	3	20,928	20,928	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

イ つり銭の状況

該当なし

該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成28年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
食品衛生 指導費	47,000	全国食肉衛生 検査所協議会 会費	全国食肉 衛生検査 所協議会		H28.8.16	47,000	全国食肉衛生検査所協 議会会則	文書ID 16-00065801
目 計	47,000					47,000		
合 計	47,000					47,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成28年12月31日現在) (単位: 円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	変更契約(最終)	契約年月日 契約額			契約 期間	契約 形態	支出 年月日		支出 金額
食品衛生指導費	単 県	電子天秤、マ ルチビームシ ョッカー保守 点検業務	有限会社 友田大洋堂	253,000	(28.8.31) 252,288	28.8.31	28.8.30	28.9.23	精	28.10.12	252,288	文書ID 16-00075870	
					()	~ 29.3.31	(免除)	28.9.23					
食品衛生指導費	単 県	空調機器保守 点検	三和商事 株式会社	388,800	()	28.4.1 ~ 29.3.31	(28.3.29)					文書ID 15-00181219	
					()		(免除)						
予定価格が20万 円未満のもの											290,520		
目計											542,808		
合計											542,808		

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成28年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	食肉衛生検査 所庁舎敷地	西伯郡大山町 小竹1291-7	1,483.53	3,281,568	H	—	—	—	H	1,483.53	3,281,568	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計			1,483.53	3,281,568						1,483.53	3,281,568	
普通 財産	—	—	—	—	H	—	—	—	H	—	—	該当なし
計			—	—	H	—	—	—	H	—	—	
合計			1,483.53	3,281,568						1,483.53	3,281,568	

イ 建物

(平成28年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	食肉衛生検査 所庁舎敷地	西伯郡大山町 小竹1291-7	633.45	76,264,105	H	—	—	—	H	633.45	76,264,105	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
行政 財産	車庫	西伯郡大山町 小竹1291-7	16.15	1,134,000	H	—	—	—	H	16.15	1,134,000	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
行政 財産	倉庫	西伯郡大山町 小竹1291-7	49.68	4,017,000	H	—	—	—	H	49.68	4,017,000	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計			699.28	81,415,105						699.28	81,415,105	
普通 財産	—	—	—	—	H	—	—	—	H	—	—	該当なし
計			—	—	H	—	—	—	H	—	—	
合計			699.28	81,415,105						699.28	81,415,105	

施設の評価額については、県有施設は課税対象ではないため計算されていないことから初期算定額を記載。(大山町税務課確認)

ウ 山林 該当なし
 エ 動産 該当なし
 オ 物権 該当なし
 カ 無体財産権 該当なし
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況
 ア 金券の受払状況

(平成28年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	19,566	39,700	40,533	18,733	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	19,566	39,700	40,533	18,733	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成28年12月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
50 枚	0 枚	0 枚	50 枚
		0 円	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物

ア 土地

(平成28年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	住所名	
行政財産	財団書類庫用地	西伯郡大山町小竹1291-7	m ² 5.056	平成28年3月7日	平成12年3月10日	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日	丹後・年額 272	272	西伯郡大山町小竹1291-7 (公財)鳥取県食鳥肉衛生協会	文書ID 15-00163566	
計								272			
普通財産							月額・年額				該当なし
計											
合計								272			

イ 建物

(平成28年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	住所名	
行政財産	財団事務所及び倉庫	西伯郡大山町小竹1291-7	m ² 19.845	平成28年3月7日	平成12年3月10日	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日	丹後・年額 66,400	66,400	西伯郡大山町小竹1291-7 (公財)鳥取県食鳥肉衛生協会	文書ID 15-00163566	
計								66,400			
普通財産							月額・年額				該当なし
計											
合計								66,400			

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ

(平成28年12月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先		備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 単価 昇価・年額	住所 氏名		
土地	宅地	会議室用地	西伯郡大山町 小竹1291-1	133.00㎡	有	28.4.1 ～ 29.3.31	48,000円 48,000円	48,000円	西伯郡大山町 小竹1291-1 (株)鳥取県食肉センター	文書ID 15-00180368
合計								48,000円		

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成28年12月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)		貸付(使用)料(月額) (円)	
行政財産	西伯郡大山町小竹1291-7	1	2.5	免除(減免事由4)	
普通財産					

イ 異動状況
(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	0人	うち減免	0人	うち減免	16人			
4月	16人	0人	0人	0人	16人	16人	円			
5月	16	0	0	0	16	16				
6月	16	1	1	1	16	16				
7月	16	0	0	0	16	16				
8月	16	0	0	0	16	16				
9月	16	0	0	0	16	16				
10月	16	1	1	0	15	15				
11月	15	0	0	0	15	15				
12月	15	0	0	0	15	15				
1月										
2月										
3月										
合計									円	円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成28年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格 円	不用 決定 年月日	不用 とする 理由	処 分				備 考
							売却 棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処 分 年月日	売却額・ 処分費用	
食品衛生検査 指針微生物編	1	H3.4.11	5	13,860	28.8.18	改定版 購入	棄却	使用不能	28.8.18	0	
冷凍冷蔵庫 (東芝GR-22T)	1	H9.8.11	5	90,825	28.9.23	故障の ため	棄却	引換	28.10.5	5,724	
冷凍冷蔵庫 (東芝GR-22T)	1	H8.4.30	5	89,095	28.10.25	故障の ため	棄却	引換	28.10.27	5,724	
パラフィン包 埋装置	1	H17.9.16	5	1,569,750	28.10.18	更新機 材購入	棄却	使用不能	28.10.28	8,000	
合 計										19,448	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
H28年 7月 19日 ~ H28年 8月 19日	・有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

2.2 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行伺の事前承認

旅行総件数	旅費システムで 発令日が発日 より遅い件数 ①	①のうち履歴で 事前承認が確認 できた件数 ②	①のうち②以外で 緊急等特別な理由 があった件数 ③	特別な理由もなく事前承 認がされていない件数 (①-②-③)	備 考
20	4	4		0	

(2) 旅費概算払の精算等

ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの（零精算を除く）……………（ 0件中 0件）

イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの……………（ 20件中 0件）

(3) 旅費の計算

用 務 先	旅 行 期 間	用 務 内 容	支 出 金 額	備 考
東京食肉市場	H28.12.2~H28.12.3	平成28年度第2回ブロック代表等所長会議及び理事会	16,180	ANA公金振替前

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

出張後の復命について選やかに行うよう指導している。

食肉衛生検査所個別様式

23 当年度における業務の概要

(1) 事業実施概要

安全で衛生的な食肉の確保を目的として、(株)鳥取県食肉センターと畜場に搬入された家畜のと畜検査を厳正に実施し、家畜疾病から食肉への危害発生を防止した。

と畜場の衛生対策としてHACCPの概念を取り入れてと畜場法政省令が改正され、平成12年4月1日から完全適用となった大動物処理施設及び、平成14年4月1日から完全適用となった小動物処理施設の改善及びと畜の衛生的解体処理方法について、助言・指導に努めた。

平成13年10月18日から全国一斉に開始されたBSE(牛海綿状脳症)検査及び平成17年10月1日から実施が開始されたTSE(伝達性海綿状脳症)検査について、平成28年度(平成28年12月31日現在)は牛656頭、めん羊0頭、山羊4頭に実施し、それぞれ全てに陰性を確認した。

なお、規則改正により、平成17年8月1日からBSE検査では月齢が21か月以上の牛、及び平成17年10月1日からTSE検査では月齢が12か月以上のめん羊・山羊が対象とされていたが、本県では全頭を対象に検査を実施していた。また、平成25年7月1日の規則改正により、BSE検査では月齢が48か月齢超の牛が対象とされたため、牛の全頭検査を終了し48か月齢超の牛のみ検査を実施している。

さらに、平成28年6月1日の規則改正により、めん羊・山羊については月齢に関わらず生体検査でTSEを疑うような臨床症状を示す個体に対して検査を実施することとなった。

(2) と畜検査状況

平成28年度当初から平成28年12月31日までににおける総検査頭数は、65,043頭で、前年度に比較して300頭(約0.5%)の減であった。

畜種別内訳は、牛4,991頭(和牛1,540頭、乳牛3,451頭)で前年度に比較して113頭(約2.2%)の減であり、豚は60,037頭で186頭(約0.3%)の減であった。

その他、とく10頭、めん羊1頭、山羊4頭であった。

(平成28年12月31日現在) (単位:頭)

区分	和牛	乳牛	牛計	とく	馬	豚	めん羊	山羊	合計
当年度	1,540	3,451	4,991	10	0	60,037	1	4	65,043
前年度	1,524	3,580	5,104	9	0	60,223	6	1	65,343
前年度比(%)	101.0	96.4	97.8	111.1	—	99.7	16.7	400.0	99.5

注 「とく」: 生後1年未満の牛

(注) 年度中途において作成する場合、「前年度」「前年度比(%)」は、「前年度同期」「前年度同期比(%)」とする。

(3) 検査結果に基づく措置

検査の結果、処分した総頭数は29,704頭(総検査頭数の約45.7%)であった。

(ア) 禁止

とさつ禁止処分の獣畜はなかった。

(イ) 全部廃棄

全部廃棄頭数は142頭で、畜種別では牛79頭、とく2頭、豚61頭であった。原因別では、豚丹毒4頭、膿毒症40頭、敗血症23頭、尿毒症5頭、高度の黄疸19頭、高度の水腫22頭、牛白血病21頭、白血病1頭、腫瘍の多発1頭、全身性の筋肉変性6頭であった。

(ウ) 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは29,562頭で、畜種別では牛3,497頭、とく5頭、豚26,060頭であった。

(平成28年12月31日現在)(単位:頭)

(4) と畜場内とさつ頭数及び駆畜のとさつ駆体禁止又は廃棄したもの原因

区分	と畜場とさつ頭数	処 理	処分頭数	疾病別頭数										計													
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核病	ブルセラ病	破傷風	その他	豚コレラ	類似	原虫		寄生虫病	その他	疥癬	腫瘍	中毒症	炎症又は汚染又は炎症産物に	変性又は萎縮	その他					
牛	4,991	禁止	0																		0						
		全部廃棄	79																			79					
		一部廃棄	3,497			3							2	6								2,853	208	1,534	4,777		
とく	10	禁止	0																						0		
		全部廃棄	2																						2		
		一部廃棄	5																						5		
馬	0	禁止	0																						0		
		全部廃棄																								0	
		一部廃棄																								0	
豚	60,037	禁止	0																						0		
		全部廃棄	61																							61	
		一部廃棄	26,060																							19,854	273
めん羊	1	禁止	0																						0		
		全部廃棄																								0	
		一部廃棄																								0	
山羊	4	禁止	0																						0		
		全部廃棄																								0	
		一部廃棄																								0	
計	65,043	禁止	0																						0		
		全部廃棄	142																							142	
		一部廃棄	29,562																							22,712	481
		計*	29,704	0	4	0	0	0	0	0	0	2	7,952	40	23	5	19	572	25	0	22,712	487	2,800	34,644			

(注)当様式は「A4欄書き」で作成してもよい。

* とく 生後1年未満の牛
* 疾病別頭数の計と処分頭数の相違については疾病が重複するため

24 試験検査の状況

(1) 精密検査

精密検査の実施頭数は408頭で、検査の件数は3148件と前年度と比較して467件(約17.4%)の増であった。

と畜検査に係る精密検査

(平成28年12月31日現在) (単位:頭、件)

疾病名等	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
敗血症	牛	10	130	120			250
	とく	1	13	12			25
	豚	24	280	288			568
	小計	35	423	420			843
膿毒症	牛	1	10	10			20
	とく						
	豚						
	小計	1	10	10			20
尿毒症	牛	13				31	31
	とく	1				4	4
	豚	3				5	5
	小計	17				40	40
黄疸	牛	24				24	24
	とく						
	豚	3				3	3
	小計	27				27	27
腫瘍	牛						
	とく						
	豚	1			19		19
	小計	1			19		19
炭疽	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
ヨ－ネ病	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
白血病	牛	20		12	238		250
	とく						
	豚	1			9		9
	小計	21		12	247		259
豚丹毒	牛						
	とく						
	豚	5	58	146			204
	小計	5	58	146			204
一般臨床	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
抗菌性物質残留検査	牛	15				47	47
	とく						
	豚						
	小計	15				47	47
枝肉の衛生状況検査 (O157及び生菌数等)	牛	170		921			921
	とく						
	豚	116		768			768
	小計	286		1689			1689
合計	牛	253	140	1063	238	102	1543
	とく	2	13	12		4	29
	豚	153	338	1202	28	8	1576
	合計	408	491	2277	266	114	3148
前年度	合計	383	308	1987	302	84	2681

(2) 受託検査

(株)鳥取県食肉センターから大腸菌数検査を54件受託し、検査した。

(平成28年12月31日現在) (単位:件)

検査区分		受託件数	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
項目							
ふぎとり検査	牛	18		18			18
	豚	36		36			36
合計		54		54			54
前年度		54		54			54

2.5 調査研究

(平成28年12月31日現在) (単位:頭、件)

検査区分		検査頭数 (件数)	顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
項目							
一般病理検査		10			81		81
微生物汚染防止		18		90			90
微生物汚染状況調査		16		1194			1194
精度管理		2		5			5
GFAP残留量調査		24				48	48
E型肝炎ウイルス浸潤状況調査		160		160		180	340
合計		230		1449	81	228	1758
前年度		194		759	74	60	893

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

現在、欠員1名、産休1名、部分休業補填1名の3人役の代替として3名の非常勤職員が雇用されているが、当初は4名を雇用しており、1名が29時間勤務で1人役、他3名が28時間以内勤務で2人役の想定であった。しかし、28時間以内勤務の1名が体調不良により辞職し、後任が定まっていない。また、残っている28時間以内勤務のうちの1名も本人の事情から週1回しか勤務できず、実質の足りない部分こそ長が現場に出て補完している状況である。(当所の検査業務はムービングテーブルで行うため、経験者でなければ作業が難しく、非常勤になりうる人材に限られている。)

本来は正職員で補充するのが適正であるので新規採用獣医師の増員・確保をお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、調書様式、その他監査に関する要望、改善点等)

年度途中で監査を行う際の調書様式で前年度同期比較はやめて欲しい。前年度の統計をやり直し、その確認も行うため、職員の負担が大きいが、今後、年度内に監査を行う場合は12月末統計で統一して欲しい。

